

## 術前イマチニブ投与が奏効した巨大直腸 GIST の一例

中野 昌彦<sup>1,2)</sup> 今野 俊和<sup>2)</sup> 福永 篤志<sup>2)</sup>  
松本 久伸<sup>2)</sup> 中川 元道<sup>2)</sup> 田中伸之介<sup>2)</sup>  
志村 英生<sup>2)</sup> 竹下 盛重<sup>3)</sup> 山下 裕一<sup>2)</sup>

1) 福岡大学医学部再生・移植医学講座

2) 福岡大学医学部外科学講座消化器外科

3) 福岡大学医学部病理学講座

要旨：GIST の治療は外科的切除が第一選択であり，術前イマチニブ（グリベック®）投与は確立していない．今回，術前イマチニブ投与により拡大手術を回避しつつ完全切除し得た巨大な直腸 GIST の 1 例を経験したので報告する．症例は66歳の女性．2007年3月初めより右臀部腫瘍の急激な増大と疼痛が出現したため当院を受診した．CT，MRI では右臀部皮下直下より骨盤内まで最大径 6×5cm，長径 10cm の腫瘍が存在し炎症は右臀部皮下にも及んでいた．右臀部皮下の生検にて GIST と診断された．子宮への強固な癒着が疑われ，右臀部皮膚も広範囲に切除が必要と思われたため，イマチニブ内服を先行することにした．内服開始後約3カ月で腫瘍は径 3cm，長径 7cm に縮小した．その後，再増大傾向が見られたため，2007年10月に腹会陰式直腸切断術を施行した．術後14カ月になるが再発を認めていない．

キーワード：直腸，GIST，イマチニブ，術前化学療法